

# 小さな僕らの大きなお城

区内には児童会館が十館と、小学校の空き教室を利用したミニ児童会館が一館あります。児童会館は、小学生の遊び場といったイメージがありますが、実際は、乳幼児を連れた保護者や高校生も訪れるほか、子育てサークルの活動の場としても利用されています。今月号では、その活動の様子についてご紹介します。



▲プレイルームで楽しくゴム遊び(二十四軒児童会館)

## 主役は子ども

児童会館は、年齢の異なる地域の子どもたちが、遊びや行事への参加などを通して、自主性・社会性などをはぐくみながら、地域交流を深めることを目的とした施設です。体育室、図書室、クラブ室、プレイルームなどがあり、保護者同伴の幼児から高校生まで、誰もが自由に遊ぶことができます。

札幌市の児童会館が掲げる「小さな僕らの大きなお城」の標語は、二十年ほど前に会館のイメージとして子どもたちから募集したも

## 児童会館はどんなところ？

- 利用について  
小学生を中心とする地域の子どもたちが利用できます。幼児は保護者の方と一緒に遊ぶことができます。
  - 開館日 月曜日～土曜日
  - 時間帯 午前8時45分～午後6時
  - 休館日 日曜・祝日、休日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 日常活動  
自発的で生き生きとした児童を育成することを目的とした児童会館の基本的な活動です。
  - 遊具を利用した遊び
  - 個人・集団による遊び・スポーツ
  - 身近な材料を使った遊び
  - 読書活動、その他
- クラブ・サークル活動  
共通の目的を持つ児童のグループの育成を目的とした活動です。
  - 工作クラブ
  - ゲームのクラブ
  - スポーツクラブ、その他
- 行事活動  
普段体験できない活動や触れ合いを通して、児童会館活動をより豊かにすることを目的とした活動です。
  - 曆に合わせた活動
  - イベント的活動
  - 交流活動、その他
- 児童クラブ  
小学1年から3年生まで、放課後帰宅しても保護者が仕事などで不在のため、適切な指導・援助が受けられない児童の生活の場として、児童クラブを開設しています。

のですが、今も多くの子どもたちに親しまれています。

平日の児童会館が最も活気づくのは、学校が終わってから夕方にかけての時間帯です。「こんにちわー」とあいさつが飛び交います。小学生だけでなく、中学生もやって来ます。また、保護者に連れられた幼児もやって来ます。来館した子どもたちは、体育室でドッジボールや一輪車の練習で汗を流したり、プレイルームでオセロや将棋で楽しんだり、図書室で本を読んだり、思い思いに帰宅までの時間を過ごします。

学校が休みの日などには、

児童みんながお弁当を持っています。小学生を対象に「おべんとうタイム」という昼食時間があり、職員も一緒にお昼を食べます。朝からたくさんの子どもたちが遊びに来て、館内は一日中活気にあふれます。

市では、児童会館を利用しにくい地域に、小学校の余剰教室を活用した「ミニ児童会館」の整備を進めています。現在、西区内には西野第二小があります。その学校の児童以外は、原則としては利用できませんが、学校内ということもあり、たくさんの子どもたちでにぎわっています。